

第 26 回金沢大学 O L 2 日間大会

兼福井県民 O L 大会 2010/09/04 福井県海浜自然公園
2010/09/05 トリムパークかなづ

石川から福井へ 春一番から秋一番へ

大会実行委員長 高島 拓也

9/4・5(土・日)に福井県坂井市・あわら市で、第26回金沢大学オリエンテーリング2日間大会を開催しました。今回の金大大会は、今までの石川県での開催ではなく福井県での開催だったので、いつもとは勝手が異なり苦労する点がたくさんありました。また、2日目のトリムパークかなづは、新規のトレインということもあり、オリエンテーリングという競技について説明するところから始まったので、これも苦労する原因の1つとなりました。

第26回金大大会の開催を決めた時点で、トリムパークで開催することは決めていたのですが、スプリント競技で1日開催だとあまり参加者がいないのでは、と考えたのですが、僕たちには新規マップのほかにもリメイクする実力も人員もないので、2日間大会にするために、福井県協会に坂井市海浜自然公園での開催を依頼しました。(結果的に共催という形になりました。)このトレインは3年前に公認大会があったので、精度があまり落ちていないだろうと考えてのことでした。しかし、実際現地に行ってみると、松林の伐採が入っており植生が大きく変化していて大幅な修正が必要な状況だったので、福井県協会の三上さんに無償での修正をしてもらえることになりました。海浜公園のほうは、三上さんにお任せしておけば問題ないのでトリムパークの調査に専念できたことはよかったです。なにしろ新規マップを作った経験のある人が一人もいない状況だったので、手探りの状態での運営開始となりました。



(写真:トリムパークかなづ)

3月から調査に入ったのですが、勝手がわからず試行錯誤を繰り返しながら8月中旬に一応形にはなったのですが、試走してみると違和感が多く、また、調査者が多いことの弊害の1つである基準の不統一が起きていました。そして、31期の辻、西田、横田が開催2週間前から大幅な修正に入り、地図が完成したのは9/5の未明でした。また、これによりコースの修正も強いられ、地図のビニールへの封入が当日の朝に会場で作る羽目になりました。これは、この大会の運営での一番の反省点だと思っています。

このように、事前準備では混乱が生じていましたが、当日の運営では多少ミスはありましたが、思っていたよりはスムーズに行えたと思います。さらにほかの大会ではあまりない、運営者参加のサブイベントを行うこともできましたし、個性のある大会にできたのかな、と思っています。参加者からのアンケートをみても、クレームや改善点などはあまり見られず、前回の金大大会の反省を生かすことができ、参加者のみなさんに楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

このように、今回の金大大会を無事開催できたのは、石川県協会、福井県協会のみなさんをはじめ、要項200の修正をしてくださった森田さん、コントローラーを引き受けてくださった天谷さん、そして、大会に参加して下さった多くの参加者のみなさんのおかげです。ありがとうございました。次回の金大大会にも参加していただけると幸いです。

追伸 金大 OLC31 期でこれから卒業までに、不定期で外部参加者を招いた練習会を複数回開催する予定です。奥卯辰山健民公園などで開催する予定です。地図をリメイクし、よりスプリント競技らしくなるように現在調査中です。後日要項を発表する予定なので、これにもぜひ参加してください。